九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

# [80]文學研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/2339159

出版情報：文學研究. 80, 1983-02-25. Faculty of Literature, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

今 井 源 衛 教 授

# 今井源衛教授退官記念特輯

# 今井源衛教授略歴

大正八年二月十六日　三重県四日市市南町西新地に今井源一郎の三男（母、なみ）として誕生
昭和　六　年三　月　四日市市立第一尋常高等小学校卒業
昭和　十一　年三　月　三重県立富田中学校（現四日市高等学校）卒業
昭和　十八　年九　月　第一高等学校文科甲類卒業
昭和二十二年三　月　東京大学文学部国文学科卒業
昭和二十二年四　月　私立聖学院高等学校講師（二十五年三月まで）
昭和二十四年三　月　東京大学大学院修業
昭和二十五年四　月　私立日本学園高等学校教諭
昭和二十七年四　月　東京都立広尾高等学校教諭
昭和二十八年四　月　私立清泉女子大学助教授
昭和三十一年十　月　九州大学文学部助教授
昭和三十二年四　月　教育学部講師（併任、三十一・三十八・四十三年度）
昭和三十二年十一月　大学院文学研究科（修士課程）授業担当
昭和三十三年四　月　佐賀大学文理学部講師（併任、三十三・三十六・四十・四十二年度）
昭和三十三年十一月　熊本大学法文学部講師（併任、三十三・四十一・四十二・五十六年度）
昭和三十八年四　月　大学院文学研究科担当

昭和四十六年　四　月　文学部附属九州文化史研究施設助教授（併任）
昭和四十六年　四　月　文学博士（「王朝文学の研究」九州大学）
昭和四十六年　七　月　九州大学文学部教授（国語学・国文学第二講座担当・大学院文学研究科指導教官）
昭和四十六年　十　月　福岡教育大学教育学部講師（併任、四十六・四十七・四十九・五十・五十一・五十二年度）
昭和四十六年　十　月　学生部参与（四十八年十一月まで）
昭和四十八年　四　月　文学部附属九州文化史研究施設教授（併任）
昭和四十八年　十　月　佐賀大学教育学部講師（併任、四十八年度）
昭和四十九年　四　月　山口大学文理学部講師（併任、四十九年度）
昭和四十九年十二月　島根大学文理学部講師（併任、四十九年度）
昭和五十一年　四　月　教養部講師（併任、五十一年度）
昭和五十一年　七　月　評議員（五十五年六月まで）
昭和五十二年　七　月　文学部長事務代理（同年八月まで）
昭和五十三年　四　月　国語学・国文学第一講座担当（兼任、同年七月まで）
昭和五十三年　七　月　文学部長・文学研究科長（五十五年六月まで）
昭和五十七年　四　月　定年退官
昭和五十七年　四　月　梅光女学院大学文学部教授
昭和五十七年　五　月　九州大学名誉教授

# 今井源衛教授主要著作目録

## 著書

源氏物語（上）（日本文学新書）　創元社　昭和三二年三月
竹取物語・伊勢物語・大和物語（日本古典文学大系9）（共著）　岩波書店　昭和三二年一〇月
やへむぐら（古典文庫173）　古典文庫　昭和三六年一二月
源氏物語の研究　未来社　昭和三七年七月
平安私家集（西日本国語国文学会翻刻双書　第一期）　西日本国語国文学会翻刻双書刊行会　昭和三八年一月
紫式部（人物叢書131）　吉川弘文館　昭和四一年三月
源氏物語解題（宮内庁書陵部蔵青表紙本源氏物語）（共著）　新典社　昭和四三年二月
花山院の生涯　桜楓社　昭和四三年七月
山路の露・雲隠六帖（宮内庁書陵部蔵青表紙本源氏物語）（共著）　新典社　昭和四五年八月
王朝文学の研究　角川書店　昭和四五年一〇月
源氏物語㈠～㈥（日本古典文学全集12～17）（共著）　小学館　昭和四五年一二月～五一年二月
堤中納言物語・とりかへばや物語（鑑賞日本古典文学12）（共著）　角川書店　昭和五一年一二月
源氏物語三、葵～花散里（陽明叢書・国書篇）　思文閣　昭和五四年九月
紫林照径　源氏物語の新研究　角川書店　昭和五四年一一月
祐倫　光源氏一部歌（源氏物語古注集成3）　桜楓社　昭和五四年一一月
枕草子・大鏡（鑑賞日本の古典5）（共著）　尚学図書　昭和五五年五月
国文学やぶにらみ　和泉書院　昭和五六年五月
支子文庫本大和物語（影印・解題・釈文）（在九州国文資料影印叢書〔第二期〕1）　在九州国文資料影印叢書刊行会　昭和五六年五月

古筆手鑑 芦屋釜（共編著）　文献探究の会　昭和五七年 二月
秋月郷土館蔵書分類目録（共編）　文献出版　昭和五七年 三月
源氏物語㈠（完訳日本の古典14）（共著）　小学館　昭和五八年 一月

## 論文

古代小説創作上の一手法――垣間見に就いて――　国語と国文学25巻3号　昭和二三年 三月
明石上について――源氏物語人物試評――　国語と国文学26巻6号　昭和二四年 六月
源氏物語における親と子　日本文学史研究3号　昭和二五年 一月
道綱母の気質　日本文学史研究8号　昭和二五年 一二月
戦後における源氏物語研究の動向　文学22巻2号　昭和二九年 二月
王朝物語の終焉　国語と国文学31巻10号　昭和二九年 一〇月
苔の衣について――物語の解体――　日本文学3巻10号　昭和二九年 一〇月
女三宮の降嫁　文学23巻6号　昭和三〇年 六月
光源氏　日本文学5巻9号　昭和三一年 九月
源氏物語の作者――その研究史の概観――　国語と国文学33巻10号　昭和三一年 一〇月
業平――三代実録の記録――　日本文学6巻7号　昭和三二年 七月
業平日本文学の理想像　日本文学6巻11号　昭和三二年 一一月
正安本「義孝集」翻刻と校異　語文研究6・7号　昭和三三年 一二月
花山院研究 その一　文学研究57輯　昭和三三年 三月
漢文伝の世界　国語と国文学36巻4号　昭和三四年 四月
花山院研究 その二　文学研究58輯　昭和三四年 七月
物語文学論　日本文学8巻9号　昭和三四年 九月
「八重律」について　文学研究59輯　昭和三五年 三月
「老閑行」のこと　言語と文芸2巻3号　昭和三五年 五月

源氏物語奥入の成立について――待井説に賛成する――　語文研究11号　昭和三五年　九月
讃岐典侍日記　解釈と鑑賞26巻2号　昭和三六年　二月
大和物語評釈・一～六十七　国文学6巻11号～13巻11号　昭和三六年　九月～四三年　九月
了悟「光源氏物語本事」について　国語と国文学38巻11号　昭和三六年一一月
新資料紹介・肥前島原松平文庫（共同執筆）　文学29巻11号　昭和三六年一二月
奈良から平安へ　文学語学22号　昭和三七年一二月
再び伊勢物語百一段について――松尾聡・片桐洋一両氏に答える――　香椎潟8号　昭和三八年　三月
花山院研究 その三　文学研究61輯　昭和三八年　六月
山鹿素行手沢本「大和物語抄」について　語文研究16号　昭和四〇年　一月
紫式部本名香子説を疑う　国語国文34巻1号　昭和四〇年　二月
紫式部集の復元とその恋愛歌　文学33巻2号　昭和四〇年　三月
「幻中類林」と「光源氏物語本事」　ビブリア30号　昭和四〇年　四月
平安朝文学――物語・日記・随筆・漢詩文――　国語と国文学42巻4号　昭和四〇年　六月
為信集と源氏物語　語文研究20号　昭和四〇年　六月
晩年の紫式部　日本文学14巻6号　昭和四〇年　六月
古注「大和物語鈔」考　創立四十周年記念論文集　昭和四一年　一月
紫式部の出生年度　文学研究63輯　昭和四一年　三月
源氏物語と紫式部集　文学35巻5号　昭和四二年　五月
枕草子の古注釈書　文学研究65輯　昭和四三年　三月
翻刻・山鹿素行写、古注「枕草子」乾坤　平安文学研究40輯　昭和四三年　六月
戒仙について――業平から貫之へ――　文学研究66輯　昭和四四年　九月
仲文集試論　福田良輔教授退官記念論文集　昭和四四年一〇月
晩年の紫式部　補説　むらさき8輯　昭和四四年　一二月

紫上――朝顔巻における――　源氏物語講座3巻　昭和四六年七月
菅公と源氏物語　語文研究31・32号　昭和四六年一〇月
紫式部の父系　源氏物語講座6巻　昭和四六年一二月
翻刻・島原松平文庫本「源氏長歌」　中世文学の研究　昭和四七年五月
「今はむかし物語」翻刻と解題　近世文学作家と作品　昭和四八年一月
勘解由相公藤原有国伝――一家司層文人の生涯――　文学研究71輯　昭和四九年三月
平安朝文学における僧侶の恋　語文研究37号　昭和四九年八月
女子教訓書および艶書文学と源氏物語　源氏物語の研究　昭和四九年九月
菅公の故事と源氏物語古註　菅原道真と太宰府天満宮上巻　昭和五〇年二月
竹河巻は紫式部原作であろう（上）　文学研究72輯　昭和五〇年三月
竹河巻は紫式部原作であろう（下）　語文研究39・40号　昭和五〇年六月
前渡りについて――源氏物語まで――　中古文学17号　昭和五一年五月
人妻を盗む話――浮舟巻補注――　国語と国文学53巻6号　昭和五一年六月
「宇治橋」の贈答歌について――宇治十帖の主題――　春日和男教授退官記念語文論叢　昭和五三年一一月
王朝の「そらごと」　論叢王朝文学　昭和五三年一二月
夕霧巻「とにかくに人目づつみをせきかねて」の歌をめぐって　むらさき18輯　昭和五六年七月
年中行事と日本文学・源氏物語　年中行事の文芸学　昭和五六年七月
夕顔の性格　平安時代の歴史と文学・文学編　昭和五六年一一月
「我身にたどる姫君」の性愛描写について　文学50巻2号　昭和五七年二月
「我が身にたどる姫君」本文の再建　文学研究79輯　昭和五七年三月
紫式部「道長妾」の伝承について　和歌文学新論　昭和五七年五月
『我身にたどる姫君』人物索引　今井源衛教授退官記念文学論叢　昭和五七年六月
「我身にたどる姫君」のユーモア　語文研究52・53号　昭和五七年六月
浮舟の造型――夕顔・かぐや姫の面影をめぐって――　文学50巻7号　昭和五七年七月

源氏物語五十四条〈1～7〉　解釈28巻7号～29巻2号　昭和五七年七月～五八年二月

『我身にたどる姫君』巻六の成立について　王朝物語とその周辺　昭和五七年九月

小右記寛仁三年正月五日の記事をめぐって――紫式部生存説に賛成する――　国文学27巻14号　昭和五七年一〇月

紫式部の晩年再考　日本文学研究18号　昭和五七年一一月

（以上、主要なるもののみの抄出）

# 今井源衛教授講義題目

昭和三十一年度第二学期

国文学講読　源氏物語（夕顔巻）

国文学演習　古今集

昭和三十二年度第一学期

国文学講義　古代後期文学史

国文学講読　源氏物語（夕顔巻）

国文学演習　古今集

昭和三十二年度第二学期

国文学講義　古代漢文体伝奇の問題

国文学講読　大和物語

国文学演習　本朝文粋

昭和三十三年度第一学期

国文学講義　平安朝文学史

国文学講読　大和物語

国文学演習　本朝文粋

昭和三十三年度第二学期

国文学講義　平安朝文学史

国文学講読　源氏物語―末摘花

国文学演習　八重葎

昭和三十四年度第一学期

国文学講義　平安朝文学史　物語文学を中心に
国文学講読　源氏物語
国文学演習　八重葎

昭和三十四年度第二学期
国文学講義　平安朝文学史―物語文学をめぐって―
国文学講読　枕草子
国文学演習　後撰集

昭和三十五年度第一学期
国文学講義　平安朝文学史―物語文学をめぐって―
国文学演習　後撰集

昭和三十五年度第二学期
国文学講義　平安朝文学史
国文学講読　枕草子
国文学演習　後撰集　巻十五

昭和三十六年度第一学期
国文学講義　平安朝文学史
国文学演習　後撰集　巻十五

昭和三十六年度第二学期
国文学講義　平安朝文学史
国文学講読　枕草子
国文学演習　紫式部集

昭和三十七年度第一学期

国文学講義　平安朝文学の諸問題
国文学演習　紫式部集

昭和三十七年度第二学期
国文学講義　源氏物語
国文学演習　無名草子

昭和三十八年度第一学期
国文学講義　源氏物語
国文学演習　無名草子

昭和三十八年度第二学期
国文学講義　紫式部研究
国文学演習　無名草子

昭和三十九年度第一学期
国文学講義　紫式部研究
国文学演習　無名草子
国文学特研　江談抄の研究

昭和三十九年度第二学期
国文学講義　紫式部研究
国文学演習　大和物語
国文学演習　江談抄研究

昭和四十年度第一学期
国文学講義　紫式部研究
国文学演習　大和物語

国文学演習　江　吏　部　集

昭和四十年度第二学期

国文学特講　源氏物語研究

国文学講読　枕　草　子

国文学演習　江　吏　部　集

昭和四十一年度第一学期

国文学特講　源　氏　物　語　論

国文学講読　枕　草　子

国文学演習　江　吏　部　集

昭和四十一年度第二学期

国文学特講　「源氏物語」研究

国文学演習　馬　内　侍　集

国文学演習　江　吏　部　集

昭和四十二年度第一学期

国文学特講　源　氏　物　語　論

国文学演習　馬　内　侍　集

国文学演習　伝記研究の諸問題

昭和四十二年度第二学期

国文学特講　源氏物語研究（構想論）

国文学講読　仲　文　集

国文学特研　伝記研究の諸問題

昭和四十三年度第一学期

国文学特講　源氏物語論
国文学講読　仲　文　集
国文学特研　文学史研究の諸問題

昭和四十三年度第二学期
国文学特講　平安女流文学論　その1・その歴史的基盤
国文学演習　源　氏　物　語　末摘花巻
国文学特研　文学史研究の諸問題

昭和四十四年度第一学期
国文学特講　平安女流文学の基盤
国文学演習　源　氏　物　語　末摘花巻
国文学特研　古代歌論史

昭和四十四年度第二学期
国文学講義　紫式部の伝記
国文学演習　源　氏　物　語　帚木
国文学特研　伝記研究の諸問題

昭和四十五年度第一学期
国文学講義　紫式部の伝記
国文学演習　源　氏　物　語　帚木
国文学特研　伝記研究の諸問題

昭和四十五年度第二学期
国文学特講　平安朝後期の物語文学
国文学演習　源　氏　物　語　夕顔巻

国文学特研　賀茂保憲女集

昭和四十六年度第一学期

国文学特講　平安朝末期の物語と日記文学

国文学演習　源　氏　物　語　夕顔巻

国文学演習　賀茂保憲女集

国文学特研　文学史研究の諸問題

昭和四十六年度第二学期

国文学特講　平安女流文学の基盤

国文学演習　古　今　集　巻十一（恋一）

国文学演習　苔　の　衣

国文学演習　書　誌　学（奥書について）

国文学特研　文学史研究の諸問題

昭和四十七年度第一学期

国文学特講　平安女流文学の基盤

国文学演習　古　今　集　巻一

国文学演習　国文学研究史

国文学特研　平安朝文学史の諸問題

昭和四十七年度第二学期

国文学特講　平安女流文学の基盤

国文学演習　詞花懸露集

国文学演習　日本文学研究史―源氏物語をめぐって―

国文学特研　日本文学史研究の諸問題

昭和四十八年度第一学期

国文学特講　平安女流文学の基盤

国文学演習　詞花懸露集

国文学演習　雲州消息（明衡往来）

国文学特研　平安朝文学研究法

昭和四十八年度第二学期

国文学特講　王朝和歌論

国文学演習　源氏物語　薄雲巻

国文学演習　明衡往来

国文学特研　平安朝文学研究の諸問題

昭和四十九年度第一学期

国文学特講　王朝和歌論

国文学演習　源氏物語　薄雲巻

国文学演習　為信集

国文学特研　平安朝文学史の諸問題

昭和四十九年度第二学期

国文学特講　源氏物語成立論

国文学演習　伊勢物語

国文学演習　為信集

国文学特研　平安朝文学史の諸問題

昭和五十年度第一学期

国文学特講　源氏物語研究

国文学演習　伊勢物語
国文学演習　我身にたどる姫君
国文学特研　平安朝文学研究の諸問題

昭和五十年度第二学期
国文学特講　平安朝文学史（平安朝漢文伝の研究）
国文学演習　源氏物語　浮舟巻
国文学演習　我身にたどる姫君
国文学特研　平安朝文学の諸問題

昭和五十一年度第一学期
国文学講義　平安朝文学史―物語と伝奇―
国文学演習　源氏物語　浮舟巻
国文学演習　古今六帖　第五
国文学特研　平安朝文学の諸問題

昭和五十一年度第二学期
国文学特講　源氏物語研究史
国文学演習　とりかへばや物語
国文学演習　大和物語
国文学特研　平安朝文学研究の諸問題

昭和五十二年度第一学期
国文学特講　源氏物語研究史
国文学演習　とりかへばや物語
国文学演習　大和物語

国文学特研　平安朝文学の諸問題

昭和五十二年度第二学期

国文学特講　物語文学序説

国文学演習　大　鏡

国文学演習　本　朝　文　粋　巻十二

国文学特研　平安朝文学の諸問題

昭和五十三年度第一学期

国文学特講　平安朝文学史―物語を中心に―

国文学演習　大　鏡

国文学演習　本　朝　文　粋　巻十二

国文学特研　平安朝文学の諸問題

昭和五十三年度第二学期

国文学特講　平安朝文学史―物語を中心に―

国文学演習　源　氏　物　語　手習巻

国文学演習　書　誌　学

国文学特研　平安朝文学の諸問題

昭和五十四年度第一学期

国文学演習　源　氏　物　語　手習巻

国文学演習　書　誌　学

国文学特研　平安朝文学の諸問題

昭和五十四年度第二学期

国文学演習　大　和　物　語

国文学演習　義　孝　集
国文学特研　平安朝文学の諸問題

昭和五十五年度第一学期
国文学講義　源氏物語研究史
国文学演習　大和物語
国文学演習　義　孝　集
国文学特研　平安朝文学研究の諸問題

昭和五十五年度第二学期
国文学講義　源氏物語研究史
国文学演習　蜻蛉日記
国文学演習　江談抄
国文学特研　平安朝文学研究の諸問題

昭和五十六年度第一学期
国文学特講　王朝末期物語論
国文学演習　蜻蛉日記
国文学演習　江談抄
国文学特研　平安朝文学研究の諸問題

昭和五十六年度第二学期
国文学特講　王朝末期物語論
国文学演習　紫式部日記
国文学演習　拾遺和歌集
国文学特研　平安朝文学研究の諸問題